

川棚警察署協議会第3回会議議事概要

日 時	令和3年7月27日(火) 13時30分～15時00分
場 所	川棚警察署4階講堂
出席者	<p>1 協議会 塚田会長 松尾委員 三坂委員 岸川委員 朝長委員</p> <p>2 警察署 西署長 川原副署長 米光刑事生活安全課長 米原交通課長</p> <p>3 書記 警務係長</p>
会議の状況	<p>1 前回会議での協議会の意見に対する推進状況について 署長から、前回協議会の提出意見に対する推進状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 子供の安全対策の推進について ア 犯罪被害対策活動を推進した。 イ 子供の交通事故防止を推進した。</p> <p>(2) 特殊詐欺被害防止対策の推進について ア 広報啓発活動を推進した。</p> <p>2 令和3年4月から6月までの業務重点推進結果について 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 犯罪抑止対策の推進 (2) 各種犯罪検挙活動の推進 (3) 各種イベントにおける広報啓発活動の推進 (4) 交通事故防止対策の推進 (5) 災害対策の推進</p> <p>3 業務重点推進計画について 署長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 夏休み期間における少年非行、犯罪被害防止の推進 (2) 各種犯罪検挙活動の推進 (3) 夏期における水難事故防止対策の推進 (4) 交通事故防止対策の推進 (5) 災害対策の推進</p> <p>4 諮問テーマに対する答申について 署長から、協議会に対して諮問があり、協議会から次のとおり答申された。</p> <p>(1) 諮問内容 ア 諮問テーマ 有効な災害対策について イ 設定理由 昨年は熊本県を中心とした甚大な豪雨災害が発生したほか、当署管内においても、台風の接近等により大雨警報が11回発表されている。 このような情勢の中、警察活動による人命救助を効果的に行うため。 イ 答申内容 塚田会長から協議会に対し、次のとおり署長への答申内容について確認があり、全会一致で了承された。 (ア) 災害対策では、警察、行政、消防の連携が重要となることから、防災会議では警察からの要望を積極的に出してもらいたい。 (イ) 地域住民の災害に対する意識を高めるため、広報啓発活動を強化してもらいたい。</p> <p>5 諮問テーマの設定について</p>

	<p>署長から、協議会に対して次のとおり諮問テーマが設定され、次回協議会において答申されることとなった。</p> <p>(1) 諮問テーマ コロナ禍における防犯意識の高揚方策について</p> <p>(2) 設定理由 警察が、これまで広報啓発活動の場として活用してきた各種会合やイベントが新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、軒並み中止されている。 このような情勢の中、警察が抱える「子供の安全対策」、「高齢者の交通事故防止」、「特殊詐欺の被害防止」といった課題に対し、実効ある施策を講じていくため。</p>
<p>提 出 意 見</p>	<p>1 災害対策の推進について これから台風到来のシーズンを迎えることから、関係機関と連携した適切な災害対策を推進してもらいたい。</p> <p>2 少年の非行防止対策の推進について 管内の小中学校、高校では、7月下旬から夏休みとなる。夏休み期間中は児童・生徒の非行化の高まりが予想されることから、少年の非行防止対策を推進してもらいたい。</p>